

《 校 訓 》

健やかな体 強い心 豊かな言葉



《 学校教育目標 》

社会的自立の基盤となる、学力、体力、豊かな心を培うとともに、社会の変化に対応し、社会を支え、その発展に寄与する力を育てる。そのために、聴覚障がい幼児児童生徒に対する正しい理解と深い愛情をもち、一人一人の障がいの状態や特性、発達段階に応じ、幼稚部・小学部・中学部の一貫した適切な教育に努める。

《 本校の将来ビジョン 》 (目指す学校像)

- 安全で安心して生活できる学校
- 確かな学力と心豊かでたくましく成長し、主体的に生きる力を育む学校
- 保護者や地域との連携を深め、特別支援教育のセンター的役割を担う学校

《 学校運営方針 》

- 1 一人一人の人権が尊重されるとともに、命と健康を守るため危機管理に強い学校をめざす。
- 2 確かな学力の育成のために系統性を意識したカリキュラム・マネジメントを行うと共に、専門性を生かして、幼児児童生徒一人一人の障がいの状態に応じた指導・支援を行い、コミュニケーション能力を育成する。
- 3 保護者、地域社会をはじめ、医療・福祉・保健等の関係諸機関との連携を行い、地域の聴覚障がい教育のセンター的役割を担うとともに、聴覚障がい教育の理解と啓発を図る。

《 主体的・対話的で深い学び 》

- 基礎学力の定着・向上
 - 小倉スタンダードの実施
 - 鍛ほめ福岡メソッドの展開
 - 目標の明確化と内容の精選
 - 読み書きの力と意欲の向上 (日記、作文、読書活動)
 - 家庭学習の充実
- ICTを活用した授業づくり
 - 日常的な活用の推進
 - 機器・ソフト等の整備
 - ICT活用力向上の研修の推進
- 学習形態の工夫
 - グループ編成の工夫と個に応じた指導の充実
 - TTでの指導の充実

《 自立と社会参加 》

- 言語力・コミュニケーション力の向上 (手話・話す聞く力)
 - 各種検定の実施
 - 話し合い活動の充実
- 障がいに対する認識の深化
 - 自立活動の充実
 - 合理的配慮の提供の充実
- 体験活動や表現活動の充実
 - 委員会・生徒会活動の充実
 - 学校行事の見直し・再開
- キャリア教育の充実
 - 発達段階に応じたキャリアパスポートの作成・活用
 - 多様な進路や制度に関する情報提供

《 組織力・教育力の向上 》

- 人材育成、専門性の維持・継承
 - 校内マイスターを活用した授業力の向上
 - 分掌におけるOJTによる業務移行
 - ニーズに応じた校内職員研修の充実
 - 校外の各種研修会や研究協議会等への積極的な参加・派遣
- 学校研究の推進
 - 研究授業を通じた学びの蓄積
- 働き方改革の推進
 - 週1日の時制変更による業務時間の確保
 - ICT活用による業務の効率化
 - タイムマネジメント力の向上

《 開かれた学校づくり 》

- センター的機能の充実
 - 教育相談体制と施設設備の充実
 - 聴覚障がい教育に関する理解啓発活動の推進
- 保護者や同窓会との連携・協働
- 地域との連携
- 積極的な情報発信
 - 関係機関との連携
 - PTA役員・委員会との連携・協働
 - 同窓会との定期的な連携
 - 交流及び共同学習の充実
 - 地域のイベント等への参加
 - OHPの定期更新、各種通信の発行、掲示板等の活用、保護者学習会

《 健康で安全・安心な学校づくり 》

- 危機管理意識と対応能力の向上
 - 安全点検や緊急時シミュレーションの計画的な実施
 - 防災教育の充実
 - ヒヤリハット事例の共有・蓄積・継承
 - 危機管理マニュアルの周知徹底
- 生徒指導の充実
 - 問題行動やいじめ等の早期発見・組織的な早期対応
 - OSC等の人材活用
 - 外部専門家を活用した啓発授業の実施
 - 食育と体力向上プラン (1校1取組) の推進
- 人権教育や道徳教育の充実
 - 人権に関する知的理解と人権感覚の育成
 - 人権に配慮した指導と研修参加
 - 全教育活動を通じた道徳性の育成